

一、規定の手當外に金一封支給する、その他

朝日乾電池製造所（阪南支部）

陝南文獻

三、時間一時借用額
四、傷病手當工場にて立替へる
五、日當作業以外の勤務には二割増
六、食堂の新設
七、争議費用日給算得
八、犠牲者なし解雇、退職手当既定

元ゴム工業所（仙支部）

阪元ゴトク

解決參分人員六月十七日三十名原因組合破壞幹部解雇
解決條件
一、解雇手當一ヶ年未満四十日分以上二箇月毎に一日分外
に金一封千五百圓支給

秋山二集造所（長柄支部）

獨行僧傳

發 生 六月十一日
解 決 六月廿八日
參 加 人 員 七三名
原 因 待改善

大反製墨所

二、不良品に對する割合を減らす
三、常備者の日給三割値上げ
四、争議費用全額日給四五
五、作業時間最低七時間半
六、犠牲者なし

千代田木管株式會社(木管工浦江支部)

發	解	參	原	參
解	決	加人員	三百名	加人員
參	七月十四日	因	三百五名	因
加	七月二十三日	待遇改善	待遇改善	待遇改善
人		(事業縮少誠旨を見越しての解雇手當		
員		増額)		
員		一、解雇手當制定		一、解雇手當制定
三	六月末滿三十日分	二、簡年未滿三十分以上一箇月增每一日半	二、退職手當制定	二、退職手當制定
百	一ヶ年未滿四十四日分	三、臨休手當支給	三、臨休手當支給	三、臨休手當支給
名	以上五ヶ年迄一箇月毎に一日半	四、時間短縮	十一時間を十時間	四、時間短縮
五	以上二日分	五、解雇なし	費用日給獲得	五、解雇なし
千	手二日分合五箇以上			
代				
田				
木				
管				
株				
式				
會				
社				
(木管工浦				

棕本製鏡所
（平野支部）